

平成29年度
学校だより
NO.2



甲府市立大國小学校

大國の子

H29. 5. 25 発行 校長：保坂和彦

— 学校教育目標 —
「心豊かで、知性に富み、たくましく主体的
に行動する子どもの育成」

～めざす子どもの姿～

○思いやりの心を持ち、助け合う子ども

○よく考え、自ら学ぶ子ども

○心身ともに健康で、進んで行動する子ども

木々の芽吹きが一斉に始まったと思ったら、すでに若葉の緑が目にしみるようになりました。限りないエネルギーが、どんどん湧き出すような力強さが感じられる今日この頃です。早いもので、ゴールデンウィークも終わり、5月も残り1週間となりました。いろいろな場所に観光旅行に出かけた方や故郷への帰省をした方も多かったようですが、本校の子どもたちのご家庭ではどのように過ごされたでしょうか。

さて、6月といえば、梅雨入りも近くなり、じめじめとしたうっとうしい日が多くなるかと思えます。しかし、この時期の雨は、農作物を大きく育てるためには、なくてはならない恵みの雨となります。学校では、室内で過ごすことが多くなるかと思えますが、梅雨時の遊びを考えさせ、安全で楽しく過ごせるようにしたいと思えます。



ありがとうございました！！

・・授業参観、家庭訪問、PTA総会・・

4月には、13日(木)の5、6年生の授業参観・学年総会をかわきりに、他学年の授業参観・学年総会、新旧学校委員会、家庭訪問、PTA総会等が行われました。お忙しい中を時間を割いていただき、感謝しております。特に、ご家庭にお邪魔した家庭訪問では、短い時間ではありましたが、ご家庭での子どもたちの様子や保護者の皆様のお考え、学校への要望をお聞きすることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。これからの学校生活に生かしていけるようにしてまいりたいと思えます。また何かございましたら、遠慮なく学校へご連絡いただければと思います。子どもたちのよりよい成長のために、学校とご家庭で一緒に考えていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



5月2日(火)には、PTA総会が行われました。スムーズな議事の進行で、すべての議案が承認されました。平成28年度の役員の皆様には、大変疲れ様でした。新役員の皆様には、どうかこの一年PTA活動の推進役としてよろしくお願いいたします。学校とPTAは、車の両輪にたとえられます。大國小学校のよりよい教育活動の展開や子どもたちの健やかな成長のために、両方の輪が同じ方向を向いて、同じ力で進んでいけますよう、皆様のご支援ご協力を改めてお願いいたします。

生活科授業から ～学校探検～

4月の生活科の学習では、1年生が「みんなで わくわく がっこうたんけん」、2年生が「1年生をあんないしよう」という学習がありました。入学したての1年生は、学校にはいろいろな人がいたり、いろいろなものがあったりすることに気づくこと。2年生は学校を案内することで、上級生としての自覚を持つことをねらいとしています。当日は、校長室にも、すべてのグループが来て、歴代の校長先生の写真を眺めたり、どんなものがあるのかを確認していました。また、2年生が校長室に関係のあることについて質問を出し、1年生が元気に答えていたのがとても印象的でした。



交通安全教室 ～1年生、3年生～

1日(月)には、交通安全教室が甲府市の安全課の方々の指導の下に行われました。1年生は、安全な登下校の仕方や横断歩道の渡り方、3年生は、自転車の安全な乗り方や日常における点検の仕方等を学びました。



行動範囲の広がる時期でもありますので、各ご家庭でも、帰宅後や休日における生活では、十分注意して活動するようにご指導ください。

子育てに思うこと ～子は親を映す鏡～

大國小の子どもたちは、皆素直で優しい子ばかりです。それは、家庭や地域で大切に育てられているからではないでしょうか。こんなことを思うとき、以下に紹介する詩を思い出します。2005年2月23日、皇太子殿下が、ご自分の誕生日に寄せて朗読されたことでも有名になったアメリカの教育家 ドロシー・ロー・ノルト博士の詩を紹介します。

『子ども』

批判ばかりされた子どもは、非難することをおぼえる
殴られて大きくなった子どもは、力にたよることをおぼえる
笑いものされた子どもは、ものを言わずにいることをおぼえる
皮肉にさらされた子どもは、鈍い良心のもちぬしとなる

しかし、激励を受けた子どもは、自信をおぼえる
寛容にであった子どもは、忍耐をおぼえる
賞賛を受けた子どもは、評価することをおぼえる
フェアプレーを経験した子どもは、公正をおぼえる
友情を知る子どもは、親切をおぼえる
安心を経験した子どもは、信頼をおぼえる
可愛がられ抱きしめられた子どもは、世界中の愛情を感じとることをおぼえる

